

地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

- ・地域経済を支える地方の港湾において、輸送コストの縮減、国内基幹産業への重要物資の安定供給や近年増加している外国クルーズ船の安全な受け入れに向けて、整備が完了した岸壁等を最大限に活用することが重要です。このためには防波堤の早期完成を図り、港内の静穏度を向上させる必要があります。
- ・また、港湾施設は、大規模地震時等における津波被害の軽減や、発災後救援・復旧物資輸送の確保に重要な役割を担っていることから、防波堤の粘り強い化を促進する必要があります。このような防災対策は、安全・安心を確保するための未来への投資と考えます。
- ・しかしながら、この事業を進めていくためには莫大な予算が必要であるため、本年度の補正予算の重点配分をお願いします。
- ・加えて、外国クルーズ船寄港の促進に向けて、船社等に対する情報発信の更なる強化をお願いします。

【政策提言の具体的内容】

地域経済を支えるとともに、防災拠点として重要な役割を担う港湾においては、既存プロジェクトや大規模地震に備えた防災・減災事業を推進するために、以下の項目に対して本年度の補正予算の重点配分等をお願いします。

(1) 整備が完了した岸壁等を最大限に活用するための防波堤の整備促進

＜港内静穏度の確保＞

高知港（東第1防波堤、南防波堤）、宿毛湾港（池島第2防波堤）

(2) 大規模な地震・津波に対し、防災・減災効果を発揮する防波堤の整備促進

＜防災・減災機能の強化＞

高知港（東第1防波堤、南防波堤）、須崎港（湾口西、東防波堤）

(3) 外国クルーズ船寄港促進に向けての情報発信の更なる強化

【政策提言の理由】

- 地域経済を支える地方の港湾は、輸送コストの縮減、国内基幹産業への重要物資の安定供給や近年増加している外国クルーズ船の安全な受け入れに向けて、既存岸壁を最大限に活用するための防波堤整備など、継続した港湾整備が必要不可欠です。
- また、防波堤は、大規模地震時等における津波被害の軽減や、発災後の救援・復旧物資輸送の確保に重要な役割を担っていることから、防波堤の延伸を早急に講じる必要があります。このような防災対策は安全・安心を確保するための未来への投資と考えます。
- 加えて、外国クルーズ船寄港の更なる促進に向けては各港が連携し、一体的に船社等に向けて情報発信を行うことが効果的であると考えられるため、更なる情報発信の強化が必要だと考えます。

【高知県担当課】 土木部 港湾・海岸課

地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

◆既存岸壁等を最大限に活用するための防波堤の整備促進

◆地震津波に対し、防災・減災効果を発揮する防波堤の粘り強い化の促進

[高知港 三里地区]

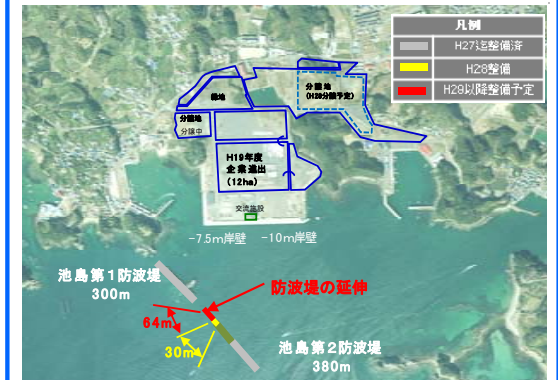


[須崎港]



◆湾口防波堤がH26.3竣工
 ・津波に対する**安全性が格段に向上**
 ・**静穏度が向上したことにより、臨海部企業の生産活動が活発化**→H26港湾取扱貨物量が**四国一**

[宿毛湾港]



◆防波堤が**未完成**のため、波浪の影響を受けやすい

港湾機能強化と誘致活動で、過去最多の客船寄港を予定

客船寄港により観光産業が活性化

静穏度確保

◆メインバース等(-12m・-11m岸壁)がH26.5供用開始
 ・岸壁混雑が改善し**利用者の利便性向上**
 ・平成28年度には、**過去最多の客船寄港**

しかしながら、防波堤が**未完成**のため

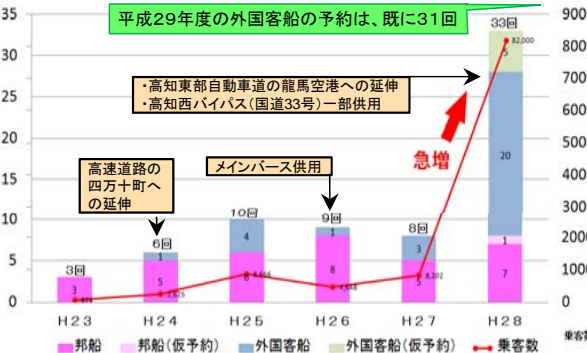
・波浪により荷役を中断
 ・客船保留時に係留ロープが破断

静穏度向上のため
 防波堤延伸

【安全かつ安定的岸壁利用】

・定期的、定時的な船舶の入出港
 ・クルーズ客船の**寄港定着化**

高知港におけるクルーズ船寄港回数の推移



観光地への
 来客増

関連産業への
 波及



政策提言:

- 地域経済を支えるとともに、防災拠点として重要な役割を担う港湾では、岸壁の安定的な利用のための整備や大規模地震に備えた防災・減災対策の推進が不可欠です。
- 既存岸壁等を最大限に活用するため、また防災・減災効果を発揮させるため**防波堤の整備促進等**に本年度の補正予算の重点配分をお願いします。
- 外国クルーズ船寄港促進のため、船社等に対して更なる情報発信の強化をお願いします。